

# 社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。  
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。  
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等(葉書・FAX・e-mail可)で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305  
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2005.2.1 ~ 2005.2.28 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)  
 \*印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

## I 理論・一般

### 0. 総記

ウェークフィールド	浜林正夫	経済	06	04.7
『資本論』とイギリス資本主義	浜林正夫	経済	107	04.8
小林多喜二とマルクス	浜林正夫	経済	108	04.9
分析的マルクス主義と自由主義	橋本 努	思想	965	04.9
現代社会主義の諸問題と展望	杉田憲道	社会主義	501	04.7
1848年2月の『共産党宣言』				
ヴォルフガング・マイザー	橋本直樹訳	マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究	41	03.12
ローザ・ルクセンブルク	西川正雄	専修人文論集	74	04.3
ジェンダーフリーとシングル単位論への疑問・批判を考える	伊田広行	大阪経大論集	55-1	04.5
「社会労働運動史研究の45年」から	高橋彦博	大原社会問題研究所雑誌	549	04.8
世界の労働関係研究所・資料館・図書館(14)	五十嵐仁	大原社会問題研究所雑誌	547	04.6
*コーポレート・ガバナンスと経営者責任	近藤光男	有斐閣	A5.327	04.10
*丸山眞男と平泉澄	植村和秀	柏書房	A5.338	04.10
*封印される不平等 橋本俊詔編著 荻谷剛彦, 齊藤貴男, 佐藤俊樹述		東洋経済新報社	B6.232	04.11
*NPOと新しい社会デザイン 塚本一郎, 古川俊一, 雨宮孝子編著		同文館出版	A5.301	04.12
*社会運動研究入門	帯刀治, 北川隆吉編著	文化書房博文社	B6.297	04.12
*マルクスと哲学	田畑 稔	新泉社	A5.535	04.6
*地球規模で捉えるカースト差別・部落差別の今	アジア太平洋人権情報センター	(発売:解放出版社)	A5.130	03.3
*イスラームとジェンダー ズイーバー・ミール=ホセイニー	山岸智子監訳 中西久枝他訳	明石書店	B6.669	04.6
*女たちの戦争責任 岡野幸江, 北田幸恵, 長谷川啓, 渡邊澄子編		東京堂出版	A5.293	04.9
*高齢社会基礎資料 '04-'05年版(付:CD)		エイジング総合研究センター	B5.420	04.12
*アジア経済研究所年報 2003-2004		アジア経済研究所	B5.121	04.12

### 1. 労働論

アダム・スミスと生産的労働	頭川 博	高知論叢 社会科学	80	04.7
モノと労働	石倉敏明	大学院研究年報(中央大) 総合政策研究科篇	7	04.2
「労働の強化」と絶対的剰余価値生産	森田成也	一橋論叢	131-6	04.6

### 2. 労使(資)関係論

特集 労働者代表システムの今日的課題		日本労働研究雑誌	527	04.6
労働条件の変更プロセスと労働者代表の関与(大内伸哉) パートタイマーの組織化と意見反映システム(呉学殊) 従業員代表制の経営参加度とその決定要因(加藤隆夫) コーポレート・ガバナンスと労務管理の比較(グレゴリー・ジャクソン)				

日本的労使関係の「効率性」と現実	山垣真浩	一橋論叢	131-6	04.6
<b>3. 労働経済論 (含 賃金論)</b>				
労働供給曲線と労働需要曲線の導出方法に関する一考察	清水 勝	生駒経済論叢 (近畿大)	1-3	04.3
労働市場の制度的調整をともなうグッドウィン型循環成長モデル	藤田真哉	季刊経済理論	41-2	04.7
社会問題としての賃金	三好正巳	経済	109	04.10
事前の仕事割り当て問題	末廣英生	国民経済雑誌 (神戸大)	189-5	04.5
A statistical analysis on the white-color pay determinants in Japan and England at the beginning of the 20th century	Yukio Wakabayashi	明大商学論叢	86-1	03.12
*労働市場の経済学	大橋勇雄, 中村二郎	有斐閣	B6.270	04.12
*日本型賃金制度の行方	須田敏子	慶応義塾大学出版会	A5.291	04.8
<b>4. 経営労務論</b>				
日本企業における経営システムのグローバル化	井藤正信	愛媛経済論集	23-1	04.1
日本半導体メーカーの品質管理	金 容度	経営志林 (法政大)	41-1	04.4
特集 現代資本主義と批判経営学		経済	108	04.9
現代大企業と労務管理 (島 弘) 生産システムの今日的意義 (那須野公人) 現代企業と経営学の課題 (丸山恵也) 批判経営学の歩みと21世紀への課題 (角谷登志雄)				
<労働の人間化>の3つのアプローチ	奥寺 葵	大学院研究年報 (中央大) 商学研究科篇	33	04.2
*アメリカ人事管理・人的資源管理史	岡田行正	同文館出版	A5.310	04.12
<b>5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障論</b>				
近藤文二氏の所説は「社会政策の保守的=革新的二重性論」か、また社会政策概念と最小限綱領概念を峻別したか (2) (3)	渡部恒夫	鹿児島経済論集 (鹿児島国際大)	44-3, 4	04.1, 3
「基本所得」政策の規範的経済理論	後藤玲子, 吉原直毅	経済研究 (一橋大)	55-3	04.7
「新しい福祉国家」と「賃金主導型成長」との構造的連関	関野秀明	下関市立大学論集	48-1	04.5
『国際福祉』概念の考察	生田日学文	東北福祉大学研究紀要	28	04.3
社会福祉学対象論の基本問題	田中治和	東北福祉大学研究紀要	28	04.3
所得分配再考	齊藤幹雄	東北福祉大学研究紀要	28	04.3
社会福祉と人間の尊厳について	西尾祐吾	福井県立大学論集	24	04.7
<b>6. 産業・労働社会学</b>				
*仕事の社会学	佐藤博樹, 佐藤厚編	有斐閣	A5.215	04.12
<b>7. 労働科学, 人間工学</b>				
Silicosis and smoking strongly increase lung cancer risk in silica-exposed workers	Nobutaka Kurihara/Osamu Wada	Industrial Health	42-3	04.7
<b>8. 職業教育・訓練論</b>				
中等学校におけるキャリア教育の現状と課題	坂本 昭	福岡大学研究部論集A:人文科学編	4-3	04.7
米国カリフォルニア州における中等職業教育	西 美江	産業教育学研究	34-2	04.7

## II 労働問題

<b>10. 総 記</b>				
*「クビ!」論。	梅森浩一	朝日新聞社	B6.221	03.8
*仕事で遊ぶ社員が会社を強くする	杉山定久	イースト・プレス	B6.214	04.2
*カイシャの苦手な人間攻略 山下勝也 アスカ・エフ・プロダクツ (発売: 明日香出版社)			B6.191	04.8
*始業前に「昨日の仕事」をすます人が成功する	高井伸夫	講談社	B6.206	04.8
*会社を踏み台にして昇る人踏み台にされて終わる人	夏川賀央	アンドリュース・プレス	B6.203	04.9
*再起	日経コンストラクション編	日経BP社 (発売: 日経BP出版センター)	B6.267	04.9
*サラリーマン・こう考えれば勝ち残る!	江坂 彰	P H P 研究所	A6.205	04.9
*新入社員論	田中圭介	文芸社	B6.211	04.9
*ナットクの働き方	梅澤 正	T A C 出版事業部	A5.230	04.9
*会社, 仕事, 人間関係が「もうイヤだ!」と思ったとき読む本	斎藤茂太	あさ出版	B6.199	05.1

11. 雇用・労働市場

大学生の進路決定時期と決定理由	田澤 実	大学院研究年報(中央大) 文学研究科篇	33	04.2
日本の地域産業・雇用創出の現状	伊藤 実	イノベーション・マネジメント(法政大)	1	04.Spring
特集 日本の今を読み解く		科学的社会主義	75	04.7
社会の階層化をフリーター増大から見つめる(森元和文) 女性をめぐる情勢は今どう動いているか(高開千代子) 今日の社会保障(津野公男)				
移行できない若者たち	樋口明彦, 亀山俊朗	季刊家計経済研究	63	04.夏
日本経済のグローバル化と雇用問題	河内優子	九州国際大学経営経済論集	10-3	04.3
特集 若年者を活かす雇用を求めて		勤労よこほま	470	04.6
フリーターの現状と若年雇用政策(本田由紀)「キャリア教育」を考えるキャリア教育の実践に向けて(渡辺三枝子)				
農村労働力の堆積と還流	小澤 薫	経済学論纂(中央大)	44-3/4	04.2
特集 建設就労縮小下の生産および雇用構造の変化と対策		建設政策	97	04.9
就労縮小下における生産合理化過程とその問題点(恵羅さとみ) 自治体の建設産業政策と今後の課題(村松加代子) 一九九八年以降の建設市場縮小に伴う建設就労者の動向(辻村定次)				
特集 フリーター		産政研フォーラム	63	04.Summer
若者のキャリア展望とフリーター(上西充子) フリーター市場との共生(脇坂 明) 求められるフリーター対策(須賀恭孝) 若年者対策とその背景について(小澤典明) フリーター現象の背景(小杉礼子)				
特集 新・フリーター論		生活経済政策	506	04.7
高卒無業者問題から読み解く日本社会の変容(耳塚寛明) よりリアルなフリーター像, より有効な支援策を求めて(本田由紀)				
サービス業雇用増加の実態	飯盛信男	政経研究	82	04.5
特集 失業・不安定雇用の急増と政治の責任		前衛	782	04.10
もっと人間らしく働ける社会に(寺沢亜志也)「非正規」急増は労働者に何をもたらしたか(藤田 実) 失業打開・雇用改善のたたかいをどう進めるか(大木 寿) 男女平等の遅れと財界の女性労働力対策(米沢玲子)				
労働力調査平成15年平均結果からみた最近の雇用・失業情勢	長尾伸一	統計	55-5	04.5
若年雇用と日本経済	玄田有史	日本経済研究センター会報	921	04.7
特集 長期失業		日本労働研究雑誌	528	04.7
欧米における長期失業者対策(勇上和史) 長期失業者対策としての職業訓練制度の可能性(鈴木敦雄) 雇用保険制度が長期失業の誘引となっている可能性(小原美紀) 日本の長期失業者について(篠崎武久) 他				
情報サービス産業の雇用調整と外注化	奥井めぐみ	日本労働研究雑誌	529	04.8
特集 NPOで働くということ その将来性と課題		ビジネス・レーバー・トレンド	354	04.9
NPOの就業実態と雇用創出に向けての課題(小野晶子) NPOスタッフ, ボランティアの就業実態と労働政策のあり方(岩田克彦) NPO発展に向けた課題(座談会)(山内直人 秦靖枝 田中尚輝 司会:小野晶子)				

12. 労働条件

私たちの「労働」を問い直す(特集)				
	岩崎雅崇, 大谷和雄, 川又恵美, 秋藤泰之, 丹生聖治	教育評論	690	04.10
特集 教育・医療・郵政-労働現場は今		新世紀	212	04.9
荒れる「子供-教師」関係を変えるために(波多野玄) 電子カルテ導入と医療労働過程の変貌(高原 進) 「成果主義賃金制」の破綻(吉本龍司)				
大学非常勤講師の実態と均等待遇	江尻 彰	労働法律旬報	1579	04.7.上旬
* 春季労使交渉・労使協議の手引き 2005年版		日本経団連出版	B5.193	05.1

13. 賃金問題

日本企業における職務給問題	鬼丸朋子	桜美林エコノミックス	50/51	04.3
日立の処遇制度改定と問題点, 職場の状況	堀口暁子	金融労働調査時報	646	04.5/6
三井住友銀行の成果主義型人事制度の概要	杉田英治	金融労働調査時報	646	04.5/6
日本とイギリスにおける男女間の賃金/所得格差の要因分析	杉橋やよい, 金子治平	研究所報(法政大)	32	04.4

「就業構造基本調査」からみた年間所得の男女間格差の要因分析 杉橋やよい 女性労働研究 6 04.7  
 特集 リビング・ウェイジ、公平・平等な賃金をめざして 女性労働研究 46 04.7  
 公共サービス分野における間接規制（吉村臨兵）日本のパートタイム労働者の基幹化と低賃金問題（鬼丸朋子）パートの均等待遇をめざして（八谷真智子）

The effect of performance-related pay on employees' motivation in Japanese firms

Mitsuharu Miyamoto/Katsuyuki Kubo 専修経済学論集 38-3 04.3  
 トヨタの賃金制度（特集）（上）（下） 杉山 直 賃金と社会保障 1371~1372 04.6上旬,下旬  
 ＊賃金決定のための物価と生計費資料 2005年版 労務行政研究所 B5.325 03.12  
 ＊ゴム総覧 No.47 2004年版 日本ゴム産業労働組合連合 A4.294 04.12  
 ＊モデル賃金実態資料 2005（付：CD） 産労総合研究所編 経営書院 B5.387 04.12  
 ＊労働条件調査表'04 日本化学エネルギー鉱山労働組合協議会 A4.210 04.12  
 ＊賃金センサス・毎勤統計活用の手引 中村建築, 古田裕繁 労働法令協会（発売：労働法令） B5.146 04.7  
 ＊あなたの値段 毎日新聞社 B6.189 04.9

14. 労働時間

ホワイトカラーの新しい働き方 島田陽一 関西経協 8-6 04.6  
 労働時間の適正管理をめぐる留意点 勝井良光 関西経協 58-6 04.6  
 日本における不払残業時間の実証的研究について 水野谷武志 季刊北海学園大学経済論集 52-1 04.6  
 ジェンダー統計視点による労働時間分析 水野谷武志 統計学 86 04.3  
 特集 長時間労働の影響 どこに歪みが生じているか ビジネス・レーパー・トレンド 351 04.6  
 長時間労働がメンタルヘルスに与える影響（対談）（今井保次 林剛司 司会：荻野登）公式統計からみた不払い労働時間の動向（小倉一哉）  
 最新労働実態分析 賃金不払い残業の解消を図るために 神山健司 労働法学研究会報 2328 04.3.10

15. パート・派遣・家内労働

電機産業における業務請負適正化と改正派遣法への対応の課題 電機連合 電機総研研究報告書シリーズ 7 04.7  
 わが国のテレワーク普及の現状と課題 柴田明, 古矢真義 運輸と経済 64-6 04.6  
 男女共同参画社会と賃金のありかた（講演） 居城舜子 季刊生協労連 117 04.5  
 特集 働き方の多様化 非正社員の現状と課題 勤労よこはま 471 04.7/8  
 多様化する雇用 非正社員の拡大と課題（今田幸子）パートタイマーの処遇と戦力化（松田憲二）  
 家内労働法制定をめぐる政策論議 高野 剛 経済学雑誌（大阪市立大） 104-3 03.12  
 物の製造業務における派遣と請負の活用 木村琢磨 月刊人材ビジネス 216 04.7  
 請負企業の経営と人事労務管理 藤本 真 月刊人材ビジネス 217 04.8  
 生産現場における請負労働者の働き方と請負リーダーの役割 佐野嘉秀 月刊人材ビジネス 218 04.9  
 特集 派遣労働の現状と組織づくり 月刊労働組合 469 04.7  
 派遣法「改正」で何が変わったか（中野麻美）製造業務の派遣解禁と課題（小山正樹）派遣労働者の権利の確立へ（関根秀一郎）派遣・請負労働の適正化を求めて（甲斐知己）  
 短時間労働の活用と均衡処遇（講演） 北浦正行 電機総研レポート 95 04.6  
 短時間正社員の可能性 松原光代 日本労働研究雑誌 528 04.7  
 重要指針解説 改正労働者派遣法 小宅栄作 労働法学研究会報 2325 04.2.10  
 労働者派遣法Q&A（特集）中野麻美, 水野圭子, 浜村彰, 沼田雅之, 武井寛, 大場敏彦 労働法律旬報 1574 04.4.下旬  
 ＊脱フリーター社会 橋本俊詔 東洋経済新報社 B6.203 04.12  
 ＊フリーター亡国論 丸山 俊 ダイヤモンド社 B6.185 04.7

16. 女性労働

総合職女性における主観的な意味づけ 藤川（堀畑）まなみ 桜美林大学産業研究所年報 22 04.3  
 日本企業における総合職女性のキャリア形成に関する一考察 鬼丸朋子 桜美林大学産業研究所年報 22 04.3  
 制度や仕組みは進歩、実態はまだまだ（インタビュー） 堀内光子 聞き手：山崎真二 改革者 527 04.6  
 女性労働力の価値はいかに決められるべきか 篠原三郎 現代と文化（日本福祉大） 110 04.3  
 特集 女性が働くこと、生きること 社会主義 501 04.7  
 資本主義と女性労働（立松 潔）女性が働きつづけるためのネックはなにか（川村孝子 松澤悦子 秋川恵里 鴨桃代）非正規職員の賃金・労働条件改善の闘い（村石 篤）自分の健康を守り、働き方を見つめなおす

- こと（黒川志津）他
- 特集 USAの女性労働者に何が起きているか 女性労働研究 46 04.7  
同時進行する経済的自立と脆弱性（ハイジ・ゴットフリート、ステフィン・ローズ、ハイジ・ハートマン、  
デイヴィット・ファーゼンフェスト）パーマテンプスの闘い（仲野（菊地）組子）
- 育児休業取得とその取得期間の決定要因について 西本真弓 日本労働研究雑誌 527 04.6  
女性就業のパネル分析 武内真美子 日本労働研究雑誌 527 04.6  
\*女性の技芸と労働をめぐる性差構造 若桑みどり編 千葉大学大学院社会科学研究科 A4.76 1998
17. 中高年労働
- 特集 エイジフリー 募集・採用時における年齢制限の緩和 エルダー 26-6 04.6  
アメリカの「雇用における年齢差別禁止法（ADEA）」（森戸英幸）中途採用時における年齢制限の緩和  
（北浦正行）年齢を基準としない雇用制度に（清家 篤）
- 特集 高齢者雇用と派遣労働 エルダー 26-7 04.7  
労働者派遣をめぐる法律の改正および注意すべき法律問題（山崎和義）異業種間で同じ労働者を共働させる  
新しい可能性を秘めた製造業派遣（インタビュー）（話し手：武藤泰明）高齢者の雇用確保としての派遣  
労働の可能性（インタビュー）（諏訪康雄）
- 改正高齢者雇用安定法は企業の競争力を高める！？ 藤村博之 関西経協 58-8 04.8  
高齢者の雇用延長と賃金配分 許 棟翰 九州国際大学経営経済論集 10-2 03.12  
高齢者の新しい働き方 高橋昌子 淑徳大学大学院研究紀要 11 04.3  
高齢者雇用政策の現状と問題点 石毛昭範 商経論集（早稲田大） 85 03.12  
再就職援助と再雇用制度との関係（報告） 奥井めぐみ 連合総研レポートD I O 184 04.6  
中高年者再就職の現状と課題（報告） 下田健人 連合総研レポートD I O 184 04.6
18. 障害者労働
- 知的障害者雇用の成功事例の検証と厚生労働省の障害者雇用政策 猪瀬桂二 地域政策科学研究（鹿児島大）創刊号 04.2  
障害者雇用における使用者の調整義務 長谷川聡 大学院研究年報（中央大）法学研究科篇 33 04.2  
障害のある人が働き・働き続けるために 関 宏之 労働法律旬報  
1577,1579,1580 04.6.上旬,07上旬・下旬
- \* サービス産業を中心とした未開拓職域における就労支援に関する研究  
高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター A4.120 04.3
- \* 障害者のキャリア形成  
高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター A4.124 04.3
- \* 障害者の職域拡大のための職場改善及び就労支援ツールに関する研究  
高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター A4.129 04.3
- \* 障害者雇用マニュアルQ & A 日本経団連出版 A5.221 04.9
19. 外国人労働
- 不熟練外国人労働者の労働市場への参入可能性の違いが不熟練自国人労働者におよぼす影響 島田 章 経営と経済（長崎大） 84-1 04.6  
国境を越えた人の移動と経済のダイナミズム（特集）（座談会）  
（柴田昌治 安居祥策 本田敬吉 手塚和彰 司会：立花宏） 経済Trend 52-8 04.8  
動き始めた「外国人受け入れ問題」 溝上憲文 賃金事情 2456 04.6.20  
在日外国人は今（座談会）（特集）（参加者：沢田貴志 重松富久子 アリ・ヌスラット 宇野敏江 矢野まなみ  
三橋徹 杉浦裕 飯田勝泰 司会：平野敏夫）  
労働者住民医療 172 04.6  
中国人留学生・就学生の実態と受け入れ政策の転換 浅野慎一 労働法律旬報 1576 04.5.下旬
20. 技術革新
- トヨタ生産方式におけるバーコードの実用化 野村政弘 名城論叢 5-1 04.6
21. 労災、職業病、健康問題
- 労災保険民営化の問題点 保原喜志夫 季刊労働行政研究 2 04.夏  
全国安全センターの厚生労働省交渉（特集） 古谷杉郎 安全センター情報 311 04.8

最近の労働災害の特徴について	井上枝一郎	大原社会問題研究所雑誌	549	04.8
産業医の役割と生協における産業医活動（講演）	広瀬俊雄	季刊生協労連	117	04.5
韓国における外来看護師のバーンアウト	趙 敏廷	厚生の指標	51-5	04.5
従業員のメンタルヘルスケア	野原蓉子	旬刊労働実務	1432	04.7.1
特集 ストレスに強い職場をつくる		人材教育	186	04.6
成果主義の時代にどうストレスマネジメントを図っていくか（渡辺直登）		職場メンタルヘルス、最近の事情（今井保次）EAP（従業員支援プログラム）でストレス悪化を予防し、企業の生産性を向上させる（奈良元壽）		
メンタルヘルスケアと相談活動	千葉 茂	はたらく仲間たちの「心」からのラブレター7		04.5
特集 働く女性の健康を考える		働くもののいのちと健康	20	04.7
少子化と女性の健康（講演）（村口喜代）真の男女平等社会をめざして（北原照代）健康と母性を守っていきいきと働きたい！（中嶋晴代）				
大和先生の「職場の喫煙対策」講座	大和 浩	労働安全衛生広報	850	04.9.1
英国におけるヘルパーの健康対策	重田博正	労働と医学	82	04.7
特集 頸肩腕障害の現状		労働と医学	82	04.7
頸肩腕障害の診断と治療（渡辺靖之）患者のかかえている問題（大角繁夫）頸肩腕障害とはどういう病気と考えられているのか（第1部）（埴田和史）				
特集 健康づくりへのポジティブ・アプローチ 1		労働の科学	59-10	04.10
理論に基づいた職場ヘルスプロモーションの展開（武藤孝司）健康相談に対する解決志向アプローチの活用（三島徳雄 上村景子）企業における「こころの健康保持増進」システム構築（野田治代）健康診断後の全社員面談（白石尚子）				
特集 教員の仕事とこころ 1		労働の科学	59-8	04.8
教師の精神疾患の予防（小田 晋）教師の疲労を悲しむ（暉峻淑子）教員のメンタルヘルスケアへのヒント（鈴木安名）変貌する教育現場と教員のメンタルヘルス（広沢真紀）				
メンタルヘルスと企業の果たすべき役割	夏目 誠	労働法学研究会報	2327	04.3.1
職場の効果的なコミュニケーションとメンタルヘルス対策	野原蓉子	労働法学研究会報	2332	04.5.1
<b>22. 労働者意識</b>				
勤労者の信頼に関する調査	社会経済生産性本部生産性総合研究センター	生産性研究レポート	2	04.3
台湾観光旅館業従業員の動機づけに関する実証的研究	王 明元	鹿児島経済論集（鹿児島国際大）	44-4	04.3
労働力移動と就業（転業）意識の動向	伊藤伸介	研究所報（法政大）	32	04.4
日米電機労働者調査中間報告 我が国労働者の仕事満足度と参加意識	中馬宏之，加藤隆夫，大橋勇雄	電機総研リポート	295	04.6
<b>23. 生活問題</b>				
家事・介護負担から見た世帯単位の生活時間行動のジェンダー分析	大竹美登利	研究所報（法政大）	32	04.4
雇用労働者夫妻における生活時間配分の研究	水野谷武志	研究所報（法政大）	32	04.4
*教職員，定年後	本多信一，飯島美世子ほか編著	学事出版	B5.207	04.12
*定年後を楽しむ仕事の本	河合 和	日本経済新聞社	A5.308	04.7
<b>III 労働運動</b>				
<b>30. 総 記</b>				
大学と労働組合，NPOとのコラボレーションはどのように可能か？				
	ケント・ウォン 鈴木玲訳	大原社会問題研究所雑誌	548	04.7
労働組合再活性化戦略の研究サーベイ	鈴木 玲	大原社会問題研究所雑誌	548	04.7
フランスにおける労使関係と労働組合の変化	松村文人	大原社会問題研究所雑誌	549	04.8
「男女平等」は労働運動の戦略課題	石川康宏	国公労調査時報	501	04.9
<b>31. 労働組合・運動論</b>				
特集 労働者と労働運動の今を探る		科学的社会主義	78	04.10
国労全国大会報告（金平 博）郵政労働者ユニオン（須藤行彦）郵政分限免職（須藤 伸）東北における電力左派運動の軌跡（佐藤三郎）有期労働契約の規制緩和と日本経団連新報告書（山崎正平）労働者派遣				

の規制緩和（大友光代）他			
労働組合の責任論の高まりと労働組合幹部・活動家のあり方	芹沢寿良	金属労働研究	69 04.5
これからの労働組合運動を展望する	大木一訓	月刊全労連	91 04.8
労働組合は質的転換なしには消滅する	早房長治	月刊全労連	91 04.8
労働市場の転換と労働運動の課題（上）	後藤道夫	月刊全労連	92 04.9
日本の労働者運動と社会主義協会（座談会）			
（小島恒久 佐藤保 山崎耕一郎 松永裕方 善明建一 司会：細井雅夫）		社会主義	500 04.6
J R労働運動を検証し展望する（4）（座談会）		進歩と改革	631 04.7
グローバル・レーバー：連帯の可能性を求めて（3）（4）（5）（6）	篠田 徹	生活経済政策	505-508 04.6-9
労働組合「過去・現在・未来」	三谷直樹	全開発	443 04.7
新自由主義に抗する運動の構築を（下）	佐野修吉	地域と労働運動	44 04.6
100万人ユニオン運動を！（補論）（補論2）	川副詔三	地域と労働運動	5-46 04.7-8
中小春闘の善戦健闘	鹿田勝一	賃金と社会保障	1369 04.5.上旬
連合副会長逮捕の深刻さ	中野隆宣	賃金と社会保障	1374 04.7.下旬
地区労、ワーカーズユニオンについて	黒崎隆雄	兵庫県労働史研究会通信	25 04.5
特集 非典型労働者の組織化		労働調査	421 04.6
アメリカにおける非典型労働者の組織化の取り組み（田原孝明）“元気に、楽しく、はげしく”非正規労働者とともにたたかっていきたい（鴨 桃代）パートタイマーの組織化と今後の課題・方向性（宮島康彦）他			
ジェンダーからみた労働運動と女性労働者運動のオルタナティブ（下）	酒井和子	労働法律旬報	1574 04.4.下旬
アメリカの移民労働者の組織化の現状と問題点（上）（中）			
ケント・ウォン 編：荒谷幸江		労働法律旬報	1578,1580 04.6.下旬,07下旬
<b>34. 単産、単組</b>			
特集 第7回建設・関連全国交流会・講演	建交労雑誌版	理論集21	04.夏
賃金論を正面にすえて（坂田晋作）公共事業における競争政策等と労働問題（辻村定次）			
組織全体で危機意識共有し新たな運動スタイルの創造へ	石津博士	あけぼの	21-11 04.7/8
“新たな運動スタイルの創造へ”職場第一線の声「政策」に生かす	吉澤恭一	あけぼの	22-1 04.9
今こそ外航海運・船員政策の確立を（特集）	井出本榮, 平山誠一,	福岡真人, 三宅隆, 今村稔, 梁本在忠	
堀田一徳, 結城功, 赤塚宏一, 山下学, 内波謙一, 荒井伸, 山口守	海員		56-7 04.7
地域運動交流会 地域運動のさらなる前進をめざして（特集）			
坂内三夫, 川上真理, 坂本敏明, 屋代真, 楠本久久, 古賀新悟, 今枝学, 菊池敏昭,	吉根清三	月刊全労連	91 04.8
経済産業省のコンピテンシー評価と全経済の取り組み, 今後の課題	上野邦雄	国公労調査時報	498 04.6
いい風吹かそう	男女平等産別統一闘争（特集）	男女がともに担う自治労委員会	
吉宮聰悟, 秋谷知世子, 石上千博, 田中千代, キム オクラン		自治労通信	706 04.5/6
職場からの労働組合強化の課題を考える（座談会）			
（谷本富英 遠藤芳孝 永山信義 司会：善明建一）		社会主義	502 04.8
組織の強化・拡大に停滞はゆるされない	甲斐知己	先見労務管理	1257 04.9.25
交通ユニオン結成の意味	小野寺忠昭	地域と労働運動	44 04.6
私はなぜ、女性ユニオンの結成を選択したのか	伊藤みどり	労働法律旬報	1574 04.4.下旬
歴史に残る舞鶴赤レンガ大会開かる！（インタビュー）			
森正暁 インタビュアー：薩川隆一		労働レーダー	28-8 04.8
<b>35. 団体交渉、労働協約</b>			
労働協約・労働協定についての研究	河野 穰	桜美林大学産業研究所年報	22 04.3
カウンスル・タックスと年金生活者の納税拒否	遠藤公嗣	季刊自治と分権	16 04.7
90年代アメリカ宅配便企業における競争的内部労働市場の形成と労働組合	坂 幸夫	富大経済論集	50-1 04.7
新賃金体系への移行準備と労働時間大幅弾力化	宮前忠夫	労働法律旬報	1578 04.6.下旬
<b>36. 賃金闘争（含 生活改善闘争）</b>			
全自の賃金原則と日産分会の査定規制（上）（下）	吉田 誠	大原社会問題研究所雑誌	547-548 04.6,7
2004年夏季闘争へ（特集）	柴田英二, 木村雅英, 武久英紀, 後藤重人	季刊自治労連	99 04.夏季
特集 04春闘を振り返って		月刊全労連	90 04.7

04春闘についての雑感（中野隆宣）“たたかえば前進する”を実感できた04春闘（座談会）（伊藤潤一 見崎徳弘 田山文武 八谷真智子 坂内三夫 司会：寺間誠治）			
特集	最賃闘争は労働者全体の課題	月刊労働組合	468 04.6
最低賃金闘争の意義と課題（山口登守）重要な産別最賃の継承・発展（加藤 昇）ミニマム運動で賃金底上げ（前田和夫）“最賃が最高賃金”抜きの地場企業（谷地田恒夫）最賃に縛られ複合就労も増加（鴨 桃代）一日一食、病院も我慢（山田浩文）			
04春闘から引き継ぐ課題（特集）			
	小出幸男, 落合清四, 大山勝也, 田島恵一, 坂本栄, 清野彰, 国近匠	月刊労働組合	470 04.8
J R春闘の到達点と今後の課題（座談会）（伊藤秀樹 関口力 遠藤充 新田敏雄 池田正美 真子俊久 鈴木好代 久保孝幸 司会：本間忠）		国労文化	78 04.6
国公賃金闘争の軌跡と現段階における課題に寄せて	早川征一郎	国公労調査時報	500 04.8
特集	○四春闘総括から労働運動強化の課題をさぐる	社会主義	500 04.6
結集軸を明確に労働者の統一闘争の復活を（福原 武）成果主義の現状と問題点（畑 隆）三位一体改革と老人ホーム 委託合理化反対闘争（宅野克典）二六年ぶりのストライキで闘った主要三課題闘争（高橋廣康）他			
労働組合、地域共闘運動強化への課題をさぐる（座談会）			
	（小幡伸雄 上島透一 近藤和彦 司会：小笠原福司）	社会主義	501 04.7
04年春季生活闘争と今後の課題（特集）	矢加部勝美	労使の焦点	254 04.5
2004年度春闘総括 付加価値生産性向上と複線の賃金関係	居樹伸雄	労働法学研究会報	2332 04.5.1
今回の中小戦略はあくまでスタートライン 地場共闘、地方共闘をいかに立ち上げるかが課題（インタビュー）			
	（小出幸男 インタビュアー：薩川隆一）	労働レーダー	28-6 04.6
*連合白書 2005	日本労働組合総連合会編	コンポーズ・ユニ	A4.96 04.12
<b>37. 労働時間闘争</b>			
研究・技術職への裁量労働制導入とどう立ち向かうか	長田好弘	経済	106 04.7
<b>38. 合理化・雇用対策</b>			
日本鉄鋼産業における『合理化』と労働力編成変容の一側面	吉田三千雄	桜美林エコノミックス	50/51 04.3
特集 「三位一体改革」と自治体合理化		社会主義	502 04.8
「三位一体改革」の狙いと及ぼす影響（高橋俊夫）県議会でみる「三位一体改革」と今後の課題（菅沢裕明）補助金削減＝「福祉の後退」に対する自治体の課題（村上 武）急速にすすむ自治体の「市場原理」導入（笠原一郎）他			
リストラ「合理化」をめぐる法理とたたかい	佐久間大輔	労農のなかま	489 04.7
<b>39. 権利闘争</b>			
特集	変貌する労働と労働者の権利	アジェンダ	未来への課題 3 03.冬号
進まない日本のワークシェアリング政策（竹信三恵子）労働法制の行方（大川一夫）ひとりからでもできる！ユニオン労働運動（横山美樹）外国人労働者問題を考える（西村兼太郎）非正規雇用をめぐる諸問題（中野麻美）他			
一八年目を迎えた解雇撤回・J R復帰の闘い	杉山智子	科学的社会主義	76 04.8
ILO会の基準適用委員会 日本の遠隔地配転を厳しく批判	菅 俊治	季刊労働者の権利	255 04.Summer
NTT管理職 藤井・藤田裁判 大阪高裁で逆転全面勝訴	中村和雄	季刊労働者の権利	255 04.Summer
市の非常勤嘱託員にも育児休業を！	坏由美子	季刊労働者の権利	255 04.Summer
専務取締役も「労働者」～労災不支給処分を取消	井上耕史	季刊労働者の権利	255 04.Summer
筑豊じん肺訴訟最高裁判決	小宮 学	季刊労働者の権利	255 04.Summer
仲立証券事件 東京地裁が中労委命令を取消	飯高 輝	季刊労働者の権利	255 04.Summer
ブライト証券賃金減額事件について	水口洋介	季刊労働者の権利	255 04.Summer
郵政反マル生闘争、二五年目の逆転勝利（名古屋哲一 聞き手：村上茂樹）		技術と人間	33-7 04.8/9
特集	自治体に働く者の今は 上	月刊権利闘争	333 04.7
新潟県非常勤職員のたたかい（高島 悟）二〇〇四年、自治体職場の権利情勢（上）（勝島行正）			
特集	自治体に働く者の今は 中	月刊権利闘争	334 04.8



- 二〇〇四年、自治体職場の権利情勢（中）（勝島行正）
- ILO第六次勧告の内容と意義（講演） 和田 茂 国労文化 479 04.8
- 争議運動の歴史的教訓と国鉄闘争の現在 小野寺忠昭 地域と労働運動 47 04.9
- 特集 民主党と翼賛化 飛礫 43 04.夏
- 労働審判法・労働法一部改正は何をめざすか（永嶋靖久） 職場に人権なくして日本に平和なし（渡辺 鋼）  
たび重なる野宿者運動への弾圧（かねはぎあつし）
41. 教育文化宣伝活動
- 特集「日本医労連 幹部研修・中央労働学校」講演・講義抜粋 医療労働 463 04.7
- 労働法制と労働者の権利をめぐる攻防（坂本 修）職場でいのちと健康を守る労働安全衛生活動（佐々木  
昭三）「構造改革」下の社会政策と労働組合運動の課題（講演）（大木一訓）
- 特集 労働者にとってのメディア 月刊労働組合 471 04.9
- 操作される情報にどう向き合おうか（田上英二）「公正・中立」掲げるメディアの危機（美浦克教）職場に根  
をはる宣伝出版活動（吉澤芳雄）インターネット通じて組合作り（大森直史，広松栄香）
42. 労働者福祉運動
- 特集 日本協同組合学会第23回大会シンポジウム
- 協同組合運動の到達段階と戦略課題 協同組合研究 23-3 04.春季
- 農協運動の到達段階と戦略課題（報告）（山田俊男）日本の生協の到達段階と戦略課題（報告）（山下俊史）  
協同組織金融の到達段階と戦略課題（報告）（小此木良之）国際協同組合運動の到達段階と戦略課題（報告）  
（栗本 昭）
- コミュニティを再生する社会的企業，協同組合 岡安喜三郎 協同の発見 143 04.6
- 「地域再生・就労創出政策」の提案 菅野正純 協同の発見 144 04.7
- 日生協のこれからの路線と制度改革（インタビュー） 山下俊史
- （聞く人：小塚尚男 今野聡 粕谷信次 丸山茂樹 金忠紘子 柴田武男 宮崎徹 柏井宏之）
- 社会運動 290 04.5
- フランスにおける「社会的経済」と「連帯経済」 北島健一 社会運動 292 04.7
- 協同組合ともう一つの社会 森田邦彦 社会運動 293 04.8
44. 労働組合と社会問題，社会運動
- 児童労働撲滅へ心をつなごう（座談会）
- （海老原義彦 山口文子 鹿丸和男 西野えりな 加藤友康 司会：福地英明） あげぼの 21-10 04.6
- 船員と平和の海（特集）
- 井出本菜，福岡真人，内田妙子，坂田晋作，片岡和夫，森賢一，杉山忠通，福嶋実，村中哲也，安田憲司，前田辰男  
板倉隆，関口偵雄，久保孝幸，福田昭生，川畑二郎，大野則行，竹鼻藤吉，高橋清，武城正長，渡辺治
- 海員 56-8 04.8
- 特集 今日の教育を考える 社会主義 503 04.9
- 江森孝至連合社会政策局長に聞く教育が未来を創る「連合・教育改革12の提言」（江森孝至 聞き手：善明建一）  
私たちは、抵抗勢力（守旧派）なのでしょうか（樋口和雄）教育現場で増加する臨時採用者（中野友美子）
- 特集 労働組合とNPO 労働調査 422 04.7
- 労働組合とNPO（宇津木法男）どうする労働組合とNPO（長村 潔）ネットワークでつくる「共生」  
の地域社会（佐藤 宏）アメリカのNPOと労働運動社会変革に向けた連携と緊張（柏木 宏）NPO・  
NGOの役割と労働組合（平田 哲）
- 特集 コンプライアンスと労働組合 労働調査 423 04.8
- C S Rの推進と労働組合の役割（浅井茂利）コンプライアンスに関する損保労連の取り組み（松野泰久）  
「食の安全・安心」の確立，コンプライアンスに関するフード連合の取り組み（弥富洋子）公益通報者保護  
制度と労働組合（宮坂純一）

## IV 経営労務

## 50. 総記

企業はC S R（企業の社会的責任）にどう取り組むべきか（特集）

池田守男，立石信雄，桜井正光，足達英一郎，田中清，武田國男，川村光，富田秀実，関正雄，柴田稔久，河口真理子

	日本経団連国際経済本部	経済Trend	52-7	04.7
特集	企業の社会的責任をめぐる最近の動向	世界の労働	54-5	04.5
	企業の社会的責任をめぐる米国NGO活動の現状と問題点(吾郷真一) 企業の社会的責任(CSR)への日本企業の取り組みの現状と課題(報告)(斉藤弘憲) 日本企業の説明責任とGRIガイドライン(杉本寛子) ILOの労働基準と企業行動の認証(栗山直樹)			
特集	組織と倫理	組織科学	37-4	04.6
	組織における個人の倫理的意思決定(中野千秋) 企業の倫理的行動(出見世信之)「静かなリーダーシップ」による倫理的意思決定(勝原裕美子)			
	雇用における企業の「社会的責任」論	小早川真理	労働法律旬報	1579 04.7.上旬
	企業が実践すべきCSRとは	浅井茂利	労働レーダー	28-7 04.7
<b>51. 人事・労務管理</b>				
	日本企業による採用面接のねらい	武田圭太	豊橋創造大学紀要	8 04.2
	広域合併JAの事業運営と人事制度	開田 和	REPORT	42-2 04.5
	組織再編に伴う出向・転籍・労働条件の変更などの法的留意事項	岩井国立	REPORT	42-3 04.6
	能力主義人事考課制度	鈴木浩二	REPORT	42-3 04.6
	松坂屋の人事制度改革	藤井伸志	REPORT	42-4 04.7
	広域合併JAの人事制度	黒川俊継	REPORT	42-5 04.9
	介護職員の雇用形態の多様化と人事・給与管理	小林謙一	大原社会問題研究所雑誌	548 04.7
特集	欲しい人材が採れる採用マネジメント		企業と人材	844 04.9.20
	9つのシーンで考える採用マネジメントのあり方と進め方(加賀博)		今年の採用戦線の特徴と今後の課題(夏目孝吉)	
	中小・中堅製造業の経営戦略と人的資源(15)(16)	川喜多喬	経営志林(法政大)	41-1,2 04.4,7
	組織モードの変容とコア人材のマネジメント	平野光俊	国民経済雑誌(神戸大)	190-2 04.8
	平成15年改正労働基準法に対する就業規則の作成と見直し(2)	藤永伸一	旬刊労働実務	1428 04.5.21
特集	虚妄か? 成果主義		人材教育	188 04.8
	「次の仕事」で報いる日本型年功制の復活を(高橋伸夫) 人材育成, 社員への愛なくして人事管理の理念は成り立たない(楠田 丘) 成果主義にまつわる3つの「根本問題」を捉え直す(高橋 潔) 他			
	武田薬品工業におけるグローバル人事制度への改革プロセス	笠原民子	星陵台論集(神戸商科大)	36-1 03.6
特集	65歳雇用時代の中高齢者処遇		賃金実務	951 04.7.1
	65歳雇用時代の処遇はどうあるべきか(武内崇夫) 65歳までの雇用にかかわる給付金の活用方法(仲宗根宗新)			
	多面評価をどう効果的に実施・活用するか	西田直史	賃金実務	952 04.7.15
	フィードバック面接の効果的な進め方	塩津 真	賃金実務	954 04.9.1
特集	外部人材に活用拡大と新しい課題		日本労働研究雑誌	526 04.5
	製造分野における請負企業の事業戦略と人事管理の課題(木村琢磨 佐野嘉秀 藤本真 佐藤博樹) 電機産業における請負 労働者の活用と請負適正化の課題(中尾和彦) 派遣労働者の人材マネジメントの課題(高貫智行 守島基博) 他			
特集	賃金制度改革の検証		日本労働研究雑誌	529 04.8
	もう一つの評価・報酬制度改革(井川静恵 松繁寿和) 合併に伴う人事制度の統合と雇用・処遇の変化(久保克行) 賃金制度変更に関する労働法上の諸課題(山川和義) 新日本製鐵における賃金制度の変遷とその特質(田口和雄) アメリカの賃金制度(竹内一夫)			
	人的資源管理論の位相	三戸 公	立教経済学研究	58-1 04.7
	具体例に学ぶパート・アルバイトの戦力化・活性化策	平田未緒	労政時報	3632 04.6.25
	研究開発者の活性化につながる処遇を考える	森田章, 中村健一郎	労政時報	3633 04.7.9
	成果主義人事における考課者訓練	森 英一	労政時報	3635 04.8.13
	企業戦略としての女性活用	針原桂子	労働法学研究会報	2330 04.4.1
	キャンオン流『実力終身雇用』の実際	藤井康弘	労働法学研究会報	2334 04.6.1
	*社内公募・FA制度事例集		日本経団連出版	A5.219 04.10
	*就業規則-労使協定の結び方ハンドブック	布施直春	日労研	A5.350 04.8

<b>52. 賃金管理</b>				
J Aの経営と役員報酬との関連の研究	服部金太郎	REPORT	42-1	04.4
デフレ下における適正賃金の決め方	中村壽伸	REPORT	42-3	04.6
「人間基準」の成果主義賃金制度の考え方と設計	上沼裕文	REPORT	42-4	04.7
賃金トラブル	松澤信之	旬刊労働実務	1435	04.8.1/11
地域別賃金制度の仕組みと導入例	井田 修	賃金事情	2459	04.8.5/20
諸手当の見直し・廃止はどう進めるか	谷田部光一	賃金実務	950	04.6.15
成果主義（業績給）の経営環境における有効性	武脇 誠	東京経大会誌	238	04.3
*正しい成果主義を実現するバンド型賃金制度導入の手順	遠藤 仁	中経出版	A5.187	04.9
<b>54. 定年制, 退職金, 企業年金</b>				
退職給付の今後のあり方	白杵政治	企業年金	299	04.7
米国確定給付型企業年金の積立不足をめぐる最新動向（1）三石博之		企業年金	301	04.9
*義務化！65歳までの雇用延長制度導入と実務	広田 薫	日本法令	A5.203	04.11
*こう変わる退職金制度 勤労者の退職金制度のあり方に関する研究会編		雇用情報センター	B5.269	04.8
<b>55. 福利厚生</b>				
*共済制度海外事情調査報告書 平成15年度		地方公務員共済組合協議会	A4.66	04.3
<b>56. 教育・訓練</b>				
組織におけるキャリア開発情報の現状	櫻木晃裕	豊橋創造大学紀要	8	04.2
大学教員の研修権について	小宮山弘樹	大学院研究年報（中央大）文学研究科篇	33	04.2
特集 教員の資質向上の方法		季刊教育法	141	04.6
指導力不足教員への判定と支援的論理（八尾坂修）大阪府の教職員評価（清原正義）東京都の教員の資質・能力向上のための取組み－「東京教師養成塾」を中心に（インタビュー）（桑野勝 インタビュアー：季刊教育法編集部）他				
特集 効果的なO J Tマネジメントで職場の育成力を高める		企業と人材	839	04.6.20
O J Tを効果的に進めるためのマニュアル・フォーマットの活用（寺澤弘忠）O J Tを定着・推進するマネジメント（佐藤鐵夫）				
特集 広がり始めた労働組合のキャリア支援		企業と人材	841	04.7.20
電機連合「職業アカデミー」を土台に組合主催のキャリアデザインセミナーを実施（小林良子）異業種組合との共同プロジェクトでケーススタディを用いた経営研究（北井 弘）他				
特集 重要課題「情報保護」に対応できる人材を育成する		企業と人材	840	04.7.5
「情報セキュリティのためのスキルマップ」を人材育成・採用に活用する（佐久間敦）情報セキュリティ教育をどのように実施すればよいか（松田 剛）「個人情報保護教育」をどう進めるか（黒川 晃）情報セキュリティの現状からみた求められるスキルと人材育成（安田直義）				
若手社員のやる気を高め、伸ばす活かす（特集）				
安田佳生, 柳沢恵美子, 高橋誠, 中崎峰子, 阿部まさ子, 北井弘, 小林信一		企業と人材	842	04.8.5/20
新入社員教育のセオリー	内山 力	企業と人材	843	04.9.5
ヘルパーの技能の内実と向上（1）（2）	西川真規子	経営志林（法政大）	41-1,2	04.4,7
人材育成の旬を捉えた制度展開を	高松留典	産業訓練	585	04.6
特集 多様化する人材育成の視点		産業訓練	585	04.6
人的資源開発の新課題（岩内亮一）環境問題への対応と企業内教育（梶原 豊）				
しなやかな「ものづくり力」を持つマイスターの養成	吉倉 亮	産業訓練	586	04.7
特集 ニーズに対応した研修企画・展開		産業訓練	586	04.7
教育訓練ニーズの捉え方（大木栄一）中堅社員としての採算意識と原価意識の醸成（大滝茂男）				
テクニカルコンテストで技能・技術の向上	中園正和	産業訓練	587	04.8
特集 販売力強化と人づくりの施策		産業訓練	587	04.8
セールス活動とコーチング（堀江 修）戦略型の目標設定研修を通じて、新しい行動モデルの開発・体得（大島和義）優秀な営業担当はつくられる（中野隆敏）				
特集 キャリア開発のあり方		産業訓練	588	04.9
キャリア・コンサルタントに求められる役割（太田隆次）キャリアコンサルタントに必要なカウンセリン				

グマインド (杉原重之)

職人的技能の継承を支える大日本印刷のマイスター制度	牧田 明	産業訓練	588	04.9
特集 会議・チーム・組織を変えるファシリテーションの技術		人材教育	187	04.7
ファシリテーションは組織活性化の原点 (黒田由貴子) 現場での実践と奮闘を語る (座談会) (司会: 船川淳志 参加者: 大原直子 草野泰和 桑原正義 馬場美由希) 体験学習とファシリテーションを日々の組織で生かすには (津村俊充)				
特集 企業競争力を高める技能者育成と技能伝承		人材教育	189	04.9
組織能力向上に向け、経営戦略にどう位置づけるか (森 和夫) キーワードは、ライン技能者のモチベーション (梶 文彦)				
特集 人事制度と人材育成のパラダイムシフト		生協運営資料	218	04.7
生協はパート職員とともに (大山克己 太田邦江) 経営危機意識を仕事改革につなげるチャレンジ組織づくり (金子敏明) 生協に欠ける競争意識とその克服 (松田憲二)				
特集 人材育成		労政時報	3636	04.8.27
成果主義時代の新しい教育体系 - 設計の視点 (内山 力) アクションラーニングの実際 (石田幸子)				
特集 現場の技能伝承		労働調査	420	04.5
高度熟練技能の重要性とその継承 (海野邦昭) 機械金属産業の生産職場における技能伝承 (清水宣行) 印刷局職場における技能伝承 (北川和雄)				
社内キャリア開発の新視点と人材育成	小澤佳代子	労働法学研究会報	2326	04.2.20
従業員自律・企業支援型のキャリア開発	桐村晋次	労働法学研究会報	2331	04.4.15

58. 安全衛生管理

高齢者のための職場の安全衛生チェックポイント (特集)	吉積宏治	安全衛生のひろば	45-7	04.7
労働安全衛生マネジメントシステムのE Uの経験と流れ	小木和孝	安全センター情報	311	04.8
電気災害の基本と負荷機器の電気災害防止対策	矢島藤一	働く人の安全と健康	55-6	04.6
特集 医療機関の安全管理		働く人の安全と健康	55-7	04.7
医療安全をいかに確保するか (三宅祥三) 医療安全への質マネジメントアプローチ (飯塚悦功) ヒューマンファクター工学と医療安全 (河野龍太郎) 看護職を中心とした医療機関の安全衛生管理 (嶋森好子)				
特集 事故災害時にどう対応するか 企業の危機管理		働く人の安全と健康	55-9	04.9
企業の地震対策はどうあるべきか (廣井 脩) 化学工業におけるダメージコントロール (石田昌敬) 事故災害時における企業のリスクマネジメント (雨宮士朗)				
特集 これからの安全衛生を展望する		働く人の安全と健康	55-9.5	04.9月別冊
わが国の安全衛生管理活動のこれから (廣見和夫) 事業場の安全衛生管理活動をどう進めるか (座談会) (小出勲夫 福成雄三 堀江正知 浅田和哉 司会: 白崎彰久) 安全技術の現状と今後の課題 (杉本 旭) 他				
特集 安全技術の伝承を探る		労働の科学	59-7	04.7
安全技術をどう継承するか (飯田裕康) 生産現場からみた安全技術力の伝承 (浅見芳男) 新日鐵における安全技術の伝承 (千葉清則) 技術者に求められる専門性と総合力 (葛城三郎)				

59. 国際経営労務

インド製造企業における従業員満足と仕事組織及び人的資源管理	太田仁志	商経論集 (早稲田大)	86	04.3
グローバル企業を対象とした人事制度に関する一考察	笠原民子	星陵台論集 (神戸商科大)	36-3	04.1
企業における従業員の情報に対する満足度と、企業に対する忠誠心・一体感について				
	飯田謙一	専修商学論集	8	04.1
日系メーカーアジア子会社における人材育成	林 尚志	南山経済研究	19-1	04.6

V 労働政策

60. 総記

特集 男女共同参画社会の理念と現実 2		大原社会問題研究所雑誌	547	04.6
ジェンダー平等政策の展開と雇用における「結果の平等」(清山 玲) 育児における男女共同参画 (下夷美幸)				
労働審判制度 - 新たな労働紛争解決システムの創設	山川隆一	関西経協	58-7	04.7
特集 円滑な労働紛争解決のために		勤労よこはま	472	04.9
労働審判制度の創設と今後の課題 (鶴飼良昭) 集团的労使紛争処理と労働委員会 (盛 誠吾)				

EUの「男女均等待遇政策の主流化」の展開	柴山恵美子	女性と労働21	49	04.6
個別労使紛争と労働審判制度の発足	鳴海治一郎	進歩と改革	633	04.9
東京労働局における個別労働紛争解決制度の運営状況（講苑）	駒場修一	中央労働時報	1032	04.9
個別的労使紛争に関する労働審判制度の導入について	村田毅之	松山大学論集	15-5	03.12
個別労働関係紛争の現状と課題（特集）	松田保彦	労働かながわ	622	04.9
<b>61. 雇用政策</b>				
雇用政策の展開	木村隆之	経済論叢（京都大）	173-1	04.1
財界の戦略と公務員制度	丸谷 肇	国公労調査時報	500	04.8
最新の雇用政策と雇用統計（4）（5）（6）（7）（8）	田宮和夫	統計	55-5~9	04.5~9
企業経営と“両立”する「両立支援」（特集）	武石恵美子	労働かながわ	620	04.6
「間接差別」を考える	葛田一雄	労務事情	1061	04.9.15
<b>62. 賃金政策</b>				
地域給見直し・手当廃止を提案	山本幸司	月刊労働組合	471	04.9
<b>64. 職業教育・訓練政策</b>				
若者を一人前の職業人に育てる日本版デュアルシステム（座談会） （寺田盛紀 小杉礼子 吉本明子）		厚生労働	59-5	04.5
企業が参画する若者のキャリア形成支援の今後の方向	吉田 修	職業能力開発ジャーナル	46-7	04.7
ドイツにおけるハントヴェルク秩序法改正と職業教育	近藤義晴	中小企業季報（大阪経済大）	2	04.7
日本版デュアルシステム（特集）	小杉礼子, 新谷信幸	電機ジャーナル	187	04.7
特集 キャリア教育に求められるもの 高校卒業までに何をすればいいか		ビジネス・レーバー・トレンド	352	04.7
若年者のキャリア教育推進（渡辺三枝子）学校と企業の連携によるキャリア形成支援とキャリア教育（下村英雄）		ビジネス・レーバー・トレンド	353	04.8
特集 職業能力開発はいま わが国の教育訓練と各国の動向		ビジネス・レーバー・トレンド	353	04.8
アメリカの職業訓練政策（1）（原ひろみ）わが国の職業訓練政策の特質と課題（今野浩一郎）イギリスの職業訓練制度（稲川文夫）コーポレート・ユニバーシティに関する調査研究（平山正己）Off-JTと自己啓発の実態（上西充子）				
特集 働くために学ぶ 新しい職業訓練		労働の科学	59-9	04.9
若者の〈学校から仕事へ〉の移行をめぐる困難と職業訓練（乾 彰夫）「日本版デュアルシステム」の推進（逢見直人）“ものづくり”教育による“テクノロジスト”の育成（北條哲男）建設業における新しい職業訓練の必然性と矛盾（今井 拓）他				
<b>65. 社会保障, 社会福祉</b>				
『介護保険のサービス受給と福祉の財政制度』	有馬晋作	地域政策科学研究（鹿児島大）	創刊号	04.2
公益法人制度と民間福祉活動活性化の課題	間 哲朗	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	創刊号	04.3
地域リハビリテーション支援における課題	辰巳佳寿恵	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	創刊号	04.3
我が国の精神保健福祉の近未来	高内 茂	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	創刊号	04.3
スウェーデンにおける障害者福祉・教育・雇用の動向	田中きよむ	高知論叢 社会科学	80	04.7
特集 福祉国家と家族		季刊経済理論	41-2	04.7
児童手当制度のアイロニー（北 明美）脱商品化と脱家族化の政治経済学（山森 亮）福祉資本主義の危機と家族主義の未来（渡辺雅男）アメリカ型福祉国家とコミュニティ（岡田徹太郎）				
Risk management outline of the home care services				
Hirokazu Murakawa	Journal of social policy and social work（日本社会事業大）		8	04.3
Social welfare, social capital and social work				
Joseph Kwok	Journal of social policy and social work（日本社会事業大）		8	04.3
国民医療の充実をめざして（シンポジウム） （進行：田中千恵子 パネラー：井上英夫 寺尾正之 金野耕治）		医療労働	464	04.8/9
コミュニティ・エンパワーメントのためのプロセス支援の研究	野村知子	桜美林大学経営政策論集	3-1	03.12
日本の児童手当制度の展開と変質（下）	北 明美	大原社会問題研究所雑誌	547	04.6
急性期型病院におけるソーシャルワーク介入の頻度に関する研究	富樫八郎	沖縄大学人文学部紀要	5	04.3

失業時生活保障システムの再構築	嶋貫真人	沖縄大学人文学部紀要	5	04.3
アメリカの福祉改革の効果と批判	阿部 彩	海外社会保障研究	147	04.Summer
特集 ワークフェアの概念と実践		海外社会保障研究	147	04.Summer
所得保障と就労支援（対談）（討論者：岩田正美 八田達夫 モデレーター：後藤玲子）ワークフェア改革とその対案新しい連携へ？（宮本太郎）ワークフェアとベーシック・インカム（座談会）（司会：武川正吾 対談者：宮本太郎 小沢修司）ドイツにおけるワークフェアの展開（布川日佐史）韓国のSocial Enterprise（尹 文九）				
特集 少子高齢化社会		改革者	530	04.9
「出生率1・29」と迫られる社会構造の転換（石崎 浩）年金改革に揺れる欧州（三井美奈）少子化の進展とパラサイト・シングル（山田昌弘）				
介護保険と支援費の統合は必要か？（インタビュー）（特集）池田省三，石川治江，岡部耕典，おちとよこ，片山善博，熊坂義裕，高橋紘士，高山直樹，中西正司，渡辺一史				
介護保険情報			5-3	04.6
特集 ICFとケアマネジメント		介護保険情報	5-4	04.7
初心者にもよくわかるICF入門（上田 敏）目標をきちんと定めて利用者のよりよい人生を実現しよう（大川弥生）				
これからの在宅介護支援センターと介護予防（座談会）				
	（早乙女誠一郎 中澤伸 福田真理 司会：福井久）	介護保険情報	5-5	04.8
報告書のポイントと介護保険制度改正のゆくえ（インタビュー）中村秀一		介護保険情報	5-6	04.9
年金制度改革と企業の負担	高原宣昭	関西経協	58-8	04.8
年金制度改革とその実務	桑野里美	関西経協	58-8	04.8
介護保険の総括と改革の展望	伊藤周平	季刊自治と分権	16	04.7
高齢者の食事保障に関する考察	松井順子	季刊社会保障研究	40-1	04.Summer
障害児が学校に入るまで（特集）				
山本勝美，佐藤進，渡辺幹夫，川畑隆，浜口順子，山本和儀，障害児と共に歩む会		季刊福祉労働	103	04.Summer
アメリカの医療：政府と市場	竹谷仁宏	経済学雑誌（大阪市立大）	104-4	04.3
医療制度改革の家計に及ぼす影響	船橋恒裕	経済学論叢（同志社大）	56-1	04.6
特集 新たな自治体像とこれからの社会福祉		月刊福祉	87-11	04.10
新たな自治体像とこれからの社会福祉（座談会）（早瀬昇 山本香憲 矢崎和広 コーディネーター：大森彌）				
分権化と新たな自治体像（武川正吾）崩壊する地方自治の常識とこれからの社会福祉事業（辻 琢也）				
特集 卒後・現場教育のいま		月刊福祉	87-8	04.7
現場で育つ人財～卒後・現場教育，職場研修の視点（渡部章）福祉マインドの醸成と職場教育の課題（足立毅）専門職大学院の創設とリカレント教育の課題（京極高宣）福祉経営における「職場研修」の位置づけと課題（永田理香）他				
特集 家族の本質と課題		月刊福祉	87-9	04.8
家族・法・福祉（平田 厚）フランスの家族政策の現状（松村祥子）現代における家族問題と法制度の改正（才村 純）				
特集 地域福祉型福祉サービスの展開		月刊福祉	87-10	04.9
地域福祉型福祉サービスの普及に向けての課題（座談会）（山尾宏子 瀧本信吉 荻田藍子 市川一宏）当事者主体による援助プログラムの開発（永山昌彦）地域福祉型福祉サービスの展開（藤井博志）				
特集 地域福祉計画，現場の実践		月刊自治研	539	04.8
地域福祉計画策定の全国動向（和気康太）動きだした地域福祉計画（堀越栄子 三浦匡史）				
特集 年金改革を考える		月刊自由民主	616	04.7
安心・公平・信頼の年金制度構築へ（対談）（堀勝洋 大野功統）自民党の年金改革に期待する（神代和俊）				
特集 社会保障としての国民皆保険を考える		月刊保団連	825	04.6
社会保険の二重の性格（本間照光）憲法に基づく医療保障と国民皆保険（横山壽一）社会保険の社会保障における位置づけと，社会保障運動の課題（芝田英昭）社会保障の財源問題について（安藤 実）他				
特集 患者の安全・安心医療の確保のために－今次診療報酬改定の特徴と問題点		月刊保団連	828	04.7
今次歯科診療報酬改定の特徴と問題点（谷田部雄二）現場の実態に合わせ「か初診路線」見直すべき（竹田正史）他				

「DPC」その概要と医療提供体制へのインパクト	松田晋哉	健康保険	58-5	04.5
年金改革の論点を探る	宮田一雄	健康保険	58-6	04.6
特集 岐路に立つ介護保険制度		健康保険	58-9	04.9
介護保険制度改革のめざす方向(藤木則夫 八矢拓) 介護保険制度見直しを健保組合が考える意義(加藤書久 対馬忠明) 介護保険給付費の地域間格差について(池田省三)				
ドイツにおける疾病金庫の統合再編(上)	田中耕太郎	健康保険	58-9	04.9
年金改悪強行 参院選でのリベンジを!	公文昭夫	建設労働のひろば	51	04.7
イギリスのNPOにおけるPractical Quality Assurance System for Small Organizationsの日本的適用について	宮城 孝	現代福祉研究(法政大)	4	04.3
老老介護再考-東紀州の過疎山村に生きる老人世帯を事例に	中村律子	現代福祉研究(法政大)	4	04.3
介護予防の経済評価に向けたデータベース作成				
吉田裕人, 藤原佳典, 熊谷修, 新開省二, 干川なつみ, 土屋由美子		厚生指標	51-5	04.5
運動教室参加による「閉じこもり」改善効果				
奥野純子, 徳力格尔, 村上晴香, 松田光生, 久野譜也		厚生指標	51-6	04.6
居宅介護支援事業所の特性と介護保険における住宅改修				
村上浩章, 高木安雄, 萩原明人		厚生指標	51-6	04.6
介護サービスに対する家族介護者の意識と評価に関する分析				
黄京蘭, 関田康慶		厚生指標	51-7	04.7
福祉政策の費用・効果分析	塚原康博	厚生指標	51-7	04.7
医師臨床研修制度義務化に伴う地域医療への影響の検討				
大河内二郎, 堀口裕正, 鍋島史一, 佐藤彰記, 横倉義武, 陣内重三, 松田峻一良, 伊東清四郎, 堤康博		厚生指標	51-8	04.8
介護支援専門員に対する教育的・支持的サポートのあり方に関する研究				
窪田悦子, 岡田進一, 白澤政和		厚生指標	51-9	04.9
痴呆性高齢者対策(特集)				
坂口力, 長谷川和夫, 柴山漢人, 長嶋紀一, 大島伸一, 大島一博, 田淵よしみ, 飯山明美, 川原秀夫,		厚生労働	59-6	04.6
長井巻子, 永田久美子, 阿部芳久, 高見国生, 小宮英美				
アメリカの福祉国家と都市政治	西山隆行	思想	962	04.6
年金改革法成立	成清泰道	社会主義	501	04.7
「地域社会における孤立者」への福祉政策の一考察	黒岩亮子	社会福祉(日本女子大)	44	04.3
ホームヘルパーはどのように在宅介護サービスを形作るか?	西浦 功	社会福祉(日本女子大)	44	04.3
ホームヘルプサービスにおける援助関係の構築過程	松原日出子	社会福祉(日本女子大)	44	04.3
医療保険制度改革試論(下)	尾形裕也	社会保険旬報	2207	04.5.11
タイ国の医療保障制度導入計画背景の社会・経済要因(上)(下)	川口典男	社会保険旬報	2207~2208	04.5.11,21
医療保険制度改革は患者の視点で	米澤正紀	社会保険旬報	2208	04.5.21
DPC包括評価導入による在院日数比較	今井博久	社会保険旬報	2209	04.6.1
アメリカにおける企業年金(上)(中)(下)	佐藤仁之	社会保険旬報	2210~2212	04.6.11~7.1
フランスにおける精神医療を対象とした診断群分類の開発	松田晋哉	社会保険旬報	2210	04.6.11
介護保険の評価と展望(上)(下)	堤 修三	社会保険旬報	2211~2212	04.6.21,7.1
若年世代の公的医療保険に対する評価に関する分析(上)(下)	泉田信行	社会保険旬報	2212~2213	04.7.1,11
社会保険システムの動揺と公的介護保障(上)	里見賢治	社会保険旬報	2213	04.7.11
これからのリハビリテーション医療の課題と方向(座談会)				
(青井禮子 石神重信 石川誠 越智隆弘 中村秀一 山口武典)		社会保険旬報	2214	04.7.21
社会保険システムの動揺と公的介護保障(下)	里見賢治	社会保険旬報	2214	04.7.21
「転院問題」から見た医療・介護・地域(上)(下)(座談会)				
(品田雄一 高山俊雄 西田純子 山名友紀子 司会:大川昭博)		社会保険旬報	2216~2217	04.8.11,21
終末期ケアの課題と将来展望	池上直己	社会保険旬報	2218	04.9.1
日本医療の明日を拓く道(上)(下)	川上 武	社会保険旬報	2218,2220	04.9.1,21
いまこそ安心できる年金を(インタビュー)(相澤與一 聞き手:山田稔)		社会保険	395	04.夏

介護保険見直しの課題と展望	伊藤周平	社会保障	395	04.夏
国民だましの大本テン（インタビュー）（公文昭夫聞き手：堀幾雄）		社会保障	395	04.夏
二一世紀にふさわしい日本の生活保護制度に（シンポジウム）	（柳貞順 布川日佐史 島田務）	社会保障	396	04.秋
介護保険制度見直し（案）の概要と問題点	清沢聖子	社会保障	396	04.秋
ユニセフ調査にみる児童虐待と児童の貧困	星野信也	週刊社会保障	2283	04.5.17
年金制度の構造改革の論点	丸尾直美	週刊社会保障	2284	04.5.24
年金と社会保障	小林迪夫	週刊社会保障	2287	04.6.14
E U諸国における年金改革の影響	清水英彦	週刊社会保障	2288	04.6.21
ドイツにおける年金改革の動向	小柳治宣	週刊社会保障	2289	04.6.28
世代間のリスク・シェアリング	石田成則	週刊社会保障	2286	04.6.7
市町村別データを使った国民年金空洞化の分析と基礎年金の将来	駒村康平、丸山桂	週刊社会保障	2291	04.7.12
公的年金制度改革の再始動の視点	坂口正之	週刊社会保障	2292	04.7.19
年金制度の国際比較（終）	西村 淳	週刊社会保障	2292	04.7.19
年金制度のパラダイムの移行と公私の関係	榎原 朗	週刊社会保障	2293	04.7.26
逆選択の禁止と強制加入	倉田 聡	週刊社会保障	2290	04.7.5
年金制度の国際比較（2）（3）	西村 淳	週刊社会保障	2290~2291	04.7.5,12
基礎年金の財源とあるべき税制	田中 徹	週刊社会保障	2294	04.8.2
年金改革はいかに語られたか？	久塚純一	週刊社会保障	2294	04.8.2
フィンランドの年金改革と給付調整の手法	駒村康平	週刊社会保障	2296	04.8.23
国民年金の未加入問題	佐々木一郎	週刊社会保障	2297	04.8.30
医療制度の課題と将来	藤田伍一	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
医療保険制度の課題と将来	石田重森	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
介護保険制度の課題と将来	北場 勉	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
企業年金制度の課題と将来	若杉敬明	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
公的年金制度の課題と将来	宮島 洋	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
高齢社会と社会保障	土田武史	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
少子社会の課題と将来	袖井孝子	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
診療報酬体系の課題と将来	大道 久	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
労働保険の課題と将来	西村健一郎	週刊社会保障	2295	04.8.9/16
高齢国家－再び「私の社会保障論」(上)	丹羽雄哉	週刊社会保障	2300	04.9.20
少子化対策に欠けている視点	永瀬伸子	週刊社会保障	2300	04.9.20
東アジア福祉国家論を考える	田多英範	週刊社会保障	2298	04.9.6
知的障害者の地域における就労支援についての研究	陳麗婷	淑徳大学大学院研究紀要	11	04.3
「包摂／排除」問題と現代ドイツのSoziale Arbeit論	阿部孝志	淑徳大学大学院研究紀要	11	04.3
日本における年金課税と確定拠出年金	代田 純	証券経済研究	46	04.6
「男性稼ぎ主」型から脱却できるか	大沢真理	女性と労働21	48	04.3
介護保険法改正に向けて	永井よし子	女性と労働21	49	04.6
特集 生きる権利を求めて		人権と部落問題	56-10	04.9
学資保険最高裁勝利判決とナショナル・ミニマム確立の国民的意義（島田 務）派遣労働者の生活と人権（田中 徹）ホームレス支援という私の仕事（池田真理子）多重債務者の生活支援のための視点（佐藤順子）				
南欧諸国の低出生率と子育て支援策の展開	西岡八郎	人口問題研究	59-3	03.9
社民党など野党の年金政策を検討する	河野正輝	進歩と改革	634	04.10
医療制度改革についての考察	小松秀和	西南学院大学経済学論集	39-1	04.6
ノルウェーの家族支援政策（報告）(上) (中)	藤原絹子	世界の労働	54.7~8	04.7~8
生活保護「改革」を問う	丸田剛一	前衛	780	04.8
中国の公的高齢年金保険制度	朱 珉	大学院研究年報（中央大）経済学研究科篇	33	04.2



老人ホーム契約終了をめぐる法的諸問題	山本直生	大学院研究年報(中央大) 法学研究科篇 33	04.2
スウェーデンにみる高齢化社会への対応(講苑)	岡沢憲美	中央労働時報	1030 04.7
介護保険法と社会保障の権利再考(1)(2)	伊藤周平	賃金と社会保障 1368,1371	04.4.下旬,6月上旬
社会福祉業界と福祉サービス契約書(1)(2)	渡辺裕幸	賃金と社会保障 1368~1369	04.4.下旬,5月上旬
生活保護改革をめぐる論点整	清水浩一	賃金と社会保障	1369 04.5.月上旬
特集 2004年・年金改革 第1弾		賃金と社会保障	372 04.6.下旬
二〇〇四年「年金改革法」の内容と問題点(庄司博一)			
二〇〇四年・年金改革法をどう見るか(小越洋之助)			
特集 2004年・年金改革 第2弾		賃金と社会保障	1373 04.7.月上旬
普遍的年金制度の確立・基礎年金を公費負担方式へ(里見賢治)			
ウンとゴマカシで塗り固めた年金改革法(小池 晃) 出直せ!年金(斎藤貴男) 年金制度は“国民のお得な権利”(坂本嘉輝) 他			
特集 2004年・年金改革 第3弾		賃金と社会保障	1374 04.7.下旬
年金問題にみる“制度主義”の暴走と破綻(真田 晃)「モデル年金」構想に異議あり!(橋本宏子) 国民をふみにじる年金改革の中身と国会審議(福島みずほ) 最低生活を保障する年金論議を!(篠崎次男) 他			
「日本型福祉社会」の研究(1)(2)	永山 誠	賃金と社会保障 1373~1374	04.7.月上旬,下旬
公的年金改革法案をめぐる3つの事実(前編)	新谷信幸	電機総研リポート	295 04.6
在宅高齢者の居住継続に関する一考察	土室修, 広浦幸一	東北福祉大学研究紀要	28 04.3
福祉経営と創造的人材戦略	福地一雄	東北福祉大学研究紀要	28 04.3
ベトナムにおける高齢者福祉の現状と課題	赤塚俊治	東北福祉大学研究紀要	28 04.3
老齢単身世帯及び母子2人世帯の生活保護基準	海野恵美子	長野大学紀要	25-4 04.3
現代中国の医療経済理論研究の歴史と現状	査 建華	日本医療経済学会会報	66 04.6
高齢者福祉施設の経営とマネジメントの新展開	市川禮子, 関口和雄	日本福祉大学経済論集	28 04.1
地域福祉活動計画策定プロセスとコミュニティワークのゴール設定に関する事例研究			
	平出 明	日本福祉大学大学院研究論集	17 04.3
特集 低成長時代における年金制度の経済的諸側面を考える		年金と経済	23-1 04.5
非典型労働者の増加とこれからの年金制度(大沢真知子) 世代間の立場の違いを踏まえた年金のあり方(別所俊一郎) 社会保障体系の中で年金の位置付けを今後どのように考えるべきか(河 幹夫) 他			
激動するヨーロッパの年金制度(シンポジウム)			
	(小野正昭 久保知行 駒村公平)	年金と経済	23-2 04.7
国民年金の現状 未納とその対策	清水時彦	年金と経済	23-2 04.7
特集 年金制度の充実・強化に向けて 資金運用と制度に関する当面の課題への取り組み		年金と経済	23-2 04.7
国民年金の未加入・未納問題(堀 勝洋) ライフプランと年金制度(古徳佳枝) 公的年金改革と資産運用(浅野幸弘) 年金における未納・未加入問題の経済学的評価(塚原康博)			
フランスの年金制度とその改革(下)	淵川正敏	年金と経済	23-2 04.7
特集 支援費制度, 見えてきた課題		ノーマライゼーション	24-5 04.5
利用者本位の支援費制度をめざす東京都の取り組み(有留武司) 支援費制度見えてきた課題と対応(向島久博) 東松山市における障害者福祉サービス(雲井幸雄)			
改正障害者基本法の評価と課題(特集)			
八代英太, 森祐司, 石野富志三郎, 太田修平, 金政玉, 岡部耕典, 江上義盛, 山田宜廣, 東山文夫		ノーマライゼーション	24-6 04.6
地域生活支援とその方策(特集)			
曾根直樹, 村上和子, 西田良枝, 奥西利江, 野中康寛, 佐藤きみよ		ノーマライゼーション	24-7 04.7
介護保険制度と障害保健福祉施策(座談会)			
(池末美穂子 石渡和実 中西正司 森祐司 司会: 藤井克徳)		ノーマライゼーション	24-8 04.8
医療保険における保険者機能	佐々木貴雄	一橋論叢	132-2 04.8
介護保険制度と支援費制度のゆくえ(シンポジウム)			
(コーディネーター: 杉本章 パネラー: 大谷強 尾上浩二 中西満 寺澤美香)		ひょうご部落解放	113 04.6
イギリス高齢者社会サービスの現状	武田留美子	広島法学	28-1 04.6
エンタイトルメントとしての福祉	葛西まゆこ	法学政治学論究(慶応義塾大)	61 04.夏季

現代アメリカにおける高齢者医療保険改革	天野 拓	法学政治学論究（慶応義塾大）	61	04.夏季
NPOによる地域生活支援事業の形成過程	武田るい子	北海道大学大学院教育学研究科紀要	93	04.6
市町村合併の社会福祉行政への効果	吉村 弘	山口経済学雑誌	52-4	04.3
日本における社会保障制度体系の確立（中）	田多英範	流通経済大学論集	39-1	04.7
年金生活者の生活水準保障をめざすEU年金制度改革	柴山恵美子	労働運動研究	8	04.8
未完の年金改革	大郷武史	労働運動研究	8	04.8
* 欧州年金資金運用状況調査報告書 平成15年度地方公務員共済組合協議会			A4.122	04.2

66. 労働法

Japan's individual labor management relation and the law

	Saburo Matsuo	MELJI LAW JOURNAL	11	04.3
構造転換期における労働法の課題	西谷 敏	季刊労働行政研究	2	04.夏
組織強制法理の再検討（3）	鈴木芳明	大分大学経済論集	56-1	04.5
国立大学法人化と労働関係の論点	深谷信夫	季刊教育法	140	04.3
特集 第16回労働法講座		季刊労働者の権利	255	04.Summer
労働審判制度とは何か、これをどう活用するか（鶴飼良昭）派遣労働者の権利擁護と違法派遣・偽装請負（中野麻美）				
準解雇の法理（五・完）	三井正信	広島法学	28-1	04.6
地方公共団体における内部告発者保護制度	有田謙司	山口経済学雑誌	52-2	04.1
雇用構造の変化と雇用保障	有田謙司	山口経済学雑誌	52-3	04.3
労働基準法改正と解雇法理－解雇ルールの条文化とその意義	柳澤 旭	山口経済学雑誌	52-3	04.3
タイにおける最低賃金法制の役割と課題	吉田美喜夫	立命館法学	294	04.9
多様な働き方を目指した新しいワークルール（特集）	盛 誠吾	労働かながわ	620	04.6
「準解雇」再論	小宮文人	労働法律旬報	1576	04.5.下旬
雇用における言論の自由 ルーシー ヴィッカーズ 訳：有田謙司		労働法律旬報	1578	04.6.下旬
中国国有企業の破産手続における労働債権の取扱いについて（1） 陳 漓屏		早稲田大学大学院法研論集	110	04.6
* Q & A改正派遣法早わかり	高島秀行、宮本督	税務経理協会	B6.186	04.10

67. 労働判例

判例研究（違法争議行為等を理由とする損害賠償請求事件）	辻村昌昭	淑徳大学社会学部研究紀要	38	04.3
社会保障法判例	福田素生	季刊社会保障研究	40-1	04.Summer
査定格差の不当労働行為性に関する裁判例の検討	三柴丈典	近畿大学法学	51-3/4	04.3
最新労災判例の詳解	山口浩一郎	月刊ろうさい	55-5	04.5
当時のコース別雇用管理は不合理とはいえず	原 俊之	先見労務管理	1254	04.8.10
最近の労働判例の動きについて（講苑）	島田陽一	中央労働時報	1029	04.6
職務著作の成立要件と「雇用関係」の存否	大山盛義	法律時報	76-7	04.6
書面に明記されていない一時金支給合意の労働協約としての効力	名古屋功	法律時報	76-8	04.7
懲戒処分における就業規則の規定とその周知手続	野田 進	法律時報	76-9	04.8
派遣法の趣旨に反した長期の労働者派遣の雇止めと、黙示の労働契約の成立	沼田雅之	法律時報	76-10	04.9
労基署長による宿日直許可処分の違法性	小畑史子	労働基準	56-9	04.9
最近の労働判例の問題点	土田道夫	労働経済判例速報	55-14	04.5.30
職場における精神疾患者をめぐる判例分析と企業における人事上の課題	春田吉備彦	労働判例	869	04.7.1
スタッフ専門職の組合員資格否認と不当労働行為の成否	盛 誠吾	労働判例	871	04.8.1/15
文書提出命令制度の構造と最近の決定例	開本英幸	労働判例	873	04.9.15
住友電工男女差別訴訟、和解解決の意義	宮地光子	労働法学研究会報	2329	04.3.20
「相当の対価」外国特許分も認定！	永野秀雄	労働法学研究会報	2330	04.4.1
労働条件不利益変更の手法	中井智子	労働法学研究会報	2333	04.5.15
就業規則の定めと懲戒解雇の有効性	牛嶋 勉	労働法学研究会報	2334	04.6.1
合理性のない配転、賃金減額は無効	吉田健一	労働法学研究会報	2335	04.6.15

復帰を予定する移籍出向における復帰請求の拒否	小俣勝治	労働法律旬報	1574	04.4.下旬
職場における精神疾患者をめぐる法的諸問題の検討	春田吉備彦	労働法律旬報	1576	04.5.下旬
特集 住友電工事件・大阪高裁和解の意義		労働法律旬報	1575	04.5.上旬
住友電工事件和解と男女別コース管理をめぐる法的問題 (林 弘子)	住友電工男女賃金差別訴訟 (宮地光子)			
東朋学園事件・最高裁第一小法廷判決について	中野麻美	労働法律旬報	1578	04.6.下旬
労組法七条の「使用者」と労働組合	在間秀和	労働法律旬報	1577	04.6.上旬
企業懲戒権の行使における「時の経過」	野田 進	労働法律旬報	1580	04.7.下旬
長期間を経過した後になされた懲戒処分の効果について	角田邦重	労働法律旬報	1580	04.7.下旬
管理職員等の範囲と登録取消し処分の違法性	清水 敏	労働法律旬報	1579	04.7.上旬
使用者による労働者の能力評価・格付けの適法性要件	三井正信	労働法律旬報	1579	04.7.上旬
<b>68. 労働委員会</b>				
日本航空メールボックス事件東京都労委命令の検討	深谷信夫	茨城大学人文学部紀要 社会科学論集40	04.3	
平成一五年における不当労働行為事件命令の概観	岡部久美	中央労働時報	1029	04.6
労働紛争解決システムと労働委員会の役割 (講苑)	山川隆一	中央労働時報	1031	04.8
<b>VI 世界労働</b>				
<b>71. アジア</b>				
中国における失業、貧困および所得格差	薛 進軍	大分大学経済論集	56-1	04.5
インドにおける若年層の失業問題	佐藤隆広	経済学雑誌 (大阪市立大)	105-1	04.6
1990年代以降のインド労働経済に関する若干の検討	太田仁志	商経論集 (早稲田大)	85	03.12
特集 内部通報制度をめぐる労使の対応		世界の労働	54-5	04.5
タイにおける失業保険制度 (報告) (野見山眞之)	主要国の公益通報者保護制度 (松本恒雄)	「公益通報者保護制度」と労働契約における労働者の義務 (内藤 恵)	内部告発の時代における企業の対応 (梅田 徹)	
公益通報者保護法は抜本見直しを (阿部泰隆)				
タイ労使関係の現状 (報告)	小野豊和	世界の労働	54-6	04.6
最近のベトナムにおける労働事情	小野豊和	世界の労働	54-7	04.7
ベトナム労働法の概要	斉藤善久	世界の労働	54-7	04.7
<b>73. ヨーロッパ</b>				
欧州のCSR事情	逢見直人	UIゼンセンコンパス	54-7/8	04.7/8
フランスの最近の労働情勢-左翼躍進の背景は何か	松谷 信	科学的社会主義	76	04.8
二〇〇四年ドイツ賃金協約交渉の概要と今後の問題 (報告) 都倉裕二		世界の労働	54-6	04.6
ドイツにおける失業問題	加藤浩平	専修経済学論集	38-3	04.3
英国における雇用保障と働き方の多様化	石井まこと	労働の科学	59-9	04.9
*ロストユニオンに挑む	戸塚章介	共同企画	B6.189	04.12
<b>75. 北アメリカ</b>				
ホワイトカラー・イグゼンプションをめぐるアメリカの現状	小川英郎	季刊労働者の権利	255	04.Summer
労働組合の蜂起	デボラ・シュタインホフ 翻訳:鈴木岳	生活協同組合研究	339	04.4
障害者差別禁止法とHIV感染者	根岸 忠	労働法律旬報	1580	04.7.下旬
<b>79. ILO, 国際機関</b>				
ワールドコミッション報告について議論 (座談会)				
(長谷川真一 鈴木俊男 中嶋滋 司会:工藤幸男)		世界の労働	54-5	04.5
特集 ILO総会		世界の労働	54-8	04.8
日本もILOと協力して積極的に活動 (戸莉利和)「選択と集中」で効果的なILOの活動を期待 (奥田 碩)		三者構成ならではのILOらしい総会 (座談会) (長谷川真一 鈴木 俊男 中嶋滋 司会:工藤幸男) 他		
HIV/エイズについての国連とILOの取組み	斎藤 周	労働法律旬報	1574	04.4.下旬

## Ⅶ 歴 史

81. 労働史（日本）			
製鐵所創立期の労働者（報告）	時里奉明	九州国際大学経営経済論集 10-3	04.3
和田英の『富岡日記』を読み解く	久田俊夫	経済経営論集（名古屋経済大） 11-2	04.3
和田英の『富岡日記』と春日蝶の『手紙』	久田俊夫	経済経営論集（名古屋経済大） 11-2	04.3
ロシアに渡った靴職人たち	前川 修	研究紀要（世界人権問題研究センター） 9	04.3
アジア太平洋戦争中、日本船で死亡した中国人船員について	塚崎昌之	歴史と神戸	245 04.8
*名古屋市社会調査報告書〔含：愛知県〕 38, 43, 45		近現代資料刊行会	A5.3冊 04.11
*横浜市社会調査報告書〔含：神奈川県〕 4, 6		近現代資料刊行会	A5.2冊 04.11
*労働者の生活と「サボタージュ」 津金沢聡廣 土屋礼子編		柏書房	A5.510 04.11
82. 労働史（外国・国際）			
18世紀末から19世紀にかけてのスコットランド石炭鉱業における資本関係の展開			
	加藤一弘	鹿児島経済論集（鹿児島国際大） 44-4	04.3
「ホワイトカラー・ガール」という名のシンデレラ	小松由美	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要 10	04.3
83. 労働・社会政策史（日本）			
覚え書き 母子保護法成立までの軌跡	今井小の実	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要創刊号	04.3
占領下沖縄の公的扶助	中野育男	専修商学論集	78 04.1
被占領期日本における傷痍者保護対策	熊沢由美	東北学院大学論集 経済学	156 04.9
救護法の施行状況と地方別データの検討	寺脇隆夫	長野大学紀要	25-4 04.3
*特高警察関係資料集成 第35～38巻 荻野富士夫編・解題		不二出版	A4.4冊 04.12
84. 労働・社会政策史（外国・国際）			
イギリスの失業救済と失業統計	岩井 浩	関西大学経済論集	54-1 04.6
1959年の鉄鋼ストライキとロジャー・ブラウの戦略	黒川 博	岐阜経済大学論集	37-3 04.3
85. 労働運動史（日本）			
語りつぎたいこと（28）（29）	塩沢美代子	安全センター情報	309,311 04.5.8
歴史探訪（15）	柴田嘉彦, 公文昭夫	社会保障	395 04.夏
1980年代の山形県における全通労働運動（3）	岩本由輝	東北学院大学論集 経済学	156 04.9
*ENERGY 全日本金属産業労働組合協議会（IMF・JC）			A4.80 04.12
87. 社会主義運動史（日本）			
闇を照らす閃光（Ⅱ）（特集） 土井たか子, 長谷川暁子, 坂井尚美 澤田和子, 木田日登美, 吉田曠二, 竹内義一, 松下哲子, 斎藤千代		あごら	296 04.7
特集 世界と日本の社会主義 2		科学的社会主義	74 04.6
二一世紀の社会主義（原 野人）向坂逸郎の社会主義論（細川 正）胡錦濤体制の一年半と中国社会主義（瀬戸 宏）ベネズエラにおける民主主義革命（田中則子）キューバは音楽の宝庫小さな足跡, 大きな歴史, そして今（富山セリア）日本共産党新綱領批判（坂牛哲郎）			
山川菊栄の思想と生涯（8）～（11）	鈴木裕子	科学的社会主義	74,75,77～78 04.6,7,9～10
山川均・向坂逸郎外伝	今村稔, 石河康国	科学的社会主義	74 04.6
『山川・向坂外伝』の執筆を終えて（座談会）（上野建一 今村稔 石河康国）		科学的社会主義	77 04.9
向坂逸郎 その人と思想（19）（20）	小島恒久	社会主義	500～501 04.6～7
社会党前進の過程での摩擦熱と「協会規制」	山崎耕一郎	社会主義	501 04.7
反合理化闘争をめぐる産別労組との軋轢	善明建一	社会主義	502 04.8
向坂逸郎 その人と思想（最終回）	小島恒久	社会主義	503 04.9
「新宣言」をめぐる論争	山崎耕一郎	社会主義	503 04.9
特集 『文芸戦線』80周年		社会文学	20 04.6
若杉鳥子（林 幸雄）『文芸戦線』創刊80周年（座談会）（池田浩士 小正路淑泰 祖父江昭二 司会：大崎哲人）『文芸戦線』の歴史（大崎哲人）前田河廣一郎（中田幸子）里村欣三「苦力頭の表情」の世界（須田久美）他			
『甦る河上肇－近代中国の知の源泉』を上梓して（講演） 三田剛史		東京河上会会報	76 04.6
北一輝の「変説」	萩原 稔	同志社法学	295 03.11

大正期社会主義思想における「階級」とナショナリズムの問題	錢昕怡	同志社法学	294	03.9
滋賀大学におけるレッドバージ事件	大和田敢太	彦根論叢（滋賀大）	348	04.5
古家実三日記（3）（4）				
	藤原昭三, 須崎慎一, 和崎光太郎, 山本かえ子	古家実三日記研究	3~4	03.5
日本における社会民主主義の社会的形成	山本公德	歴史学研究	791	04.8
<b>89. 諸社会運動史</b>				
特集 青年のいま～将来をつかみとるために		科学的社会主義	77	04.9
私の入社から退職まで（望月隆一）私の学生時代と労働者としてのいま（川村知子）新自由主義と闘う青年運動の構築を（津野公男）世界民主青年連盟の近況（原田行男）青年運動の現状と課題（森 哲二）				
階級の消滅、それとも新しい社会運動からマルチチュードへ？	伊藤述史	情況	5-7	04.7
全国水平社香川県支部連合会と融和運動	山下隆章	部落解放研究	158	04.6
*証言連合赤軍 2	連合赤軍事件の全体像を残す会編	情況出版	A5.87	04.6
*競雄女侠伝	永田圭介	編集工房ノア	B6.473	04.9

# 社会開発の福祉学

——社会福祉の新たな挑戦——

ジェームス・ミツジリイ(カリフォルニア州立大学バークレイ校教授) 著  
萩原康生(城西国際大学教授) 訳

国際社会福祉をとらえる新たな視点としての「社会開発」  
その第一人者による総合的テキストを完全翻訳。

## ◆目次◆

定価（本体3,000円＋税）  
A5判 並製 256頁

日本語版への序文

### 序章

開発とゆがんだ発展／社会開発の必要性／本書の目的と領域

### 第1章 社会開発の定義

社会福祉の概念／社会福祉を向上させるさまざまなアプローチ／社会開発アプローチ／社会開発のその他の概念

### 第2章 社会開発の歴史

社会変革と社会的介入の理論／先進工業諸国における福祉国家と計画／植民地主義と第三世界の社会福祉／国連と社会開発の普及／社会開発の衰退と復活

### 第3章 社会開発の理論

社会開発理論の性格／低開発の状況／社会開発のプロセス／社会開発の目標

### 第4章 社会開発のための戦略

個人による社会開発／コミュニティによる社会開発／政府による社会開発

### 第5章 社会開発を目指して 制度の全体像

制度学派の見方／制度的見方の実践／社会開発の達成のために一事例の紹介／今後の課題

〈解題〉

旬報社 〒112-0015 東京都文京区目白台2-14-13  
TEL 03-3943-9911 FAX 03-3943-8396